

## ピロリ菌除菌関連皮疹、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬で新潟大学皮膚科を受診され、診断確定のために皮膚生検した際に包括同意を得られた方へ

2026年3月27日

過去に提供いただいたもしくは今後提供いただく試料・情報を、新しい疾患バイオマーカーの探索を目的として計画された下記研究課題に使用させていただきます。その概要を記載いたしますので、この研究課題についてご質問・ご相談等がございます場合、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

ご自身が提供された試料・情報をこの研究課題に対して利用・提供してほしくないと思われました場合にも、問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出いただいた際は、その試料・情報の利用を停止します。

### 研究課題名

エクソソーム含有細菌成分と皮膚疾患との相関性の検討:ピロリ菌除菌関連皮疹、アトピー性皮膚炎および尋常性乾癬

### 研究責任者

足立 淳：医薬基盤・健康・栄養研究所 医薬基盤研究所  
創薬標的プロテオミクスプロジェクト プロジェクトリーダー

### 共同研究機関の研究責任者

阿部 理一郎：新潟大学大学院医歯学総合研究科皮膚科 教授

### 本研究の目的

近年の研究で種々の細菌叢により免疫が調整されていることが明らかになりましたが、いかに特定の細菌がピロリ菌除菌関連皮疹、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬などの皮膚疾患と関係しているか不明です。この研究では、上記疾患の患者さんから血液や皮膚擦過検体をご提供いただき、種々の細菌と病気の関連を明らかにして、バイオマーカーの開発等検査方法の向上に役立てることを目的としています。

多くの病気の原因は遺伝子の最終産物であるタンパク質の異常によって起こっているため、病気の原因となるタンパク質の発見が最重要課題です。このタンパク質を網羅的に解析する手法がプロテオミクスであり、特に病気の原因となるタンパク質の発見にはヒトの血液、尿、組織などの臨床材料を用いたプロテオミクス研究が不可欠です。

エクソソームは様々な細胞が放出する直径 30~100nm の細胞外小胞です。近年、エクソソームに含まれるタンパク質や RNA ががん細胞など病的細胞のバイオマーカーとして有用であることが報告されており、疾患の早期診断や治療効果の判定などとの相関性が活発に研究されています。しかし、病態におけるエクソソームの役割は十分に解明されていないのが現状です。

本研究では、最新のプロテオミクス技術を使い、ヒトの血液や皮膚擦過検体などの臨床材料のエクソソームから上記皮膚疾患の診断や治療に有用なタンパク質を発見することを目的としています。

## 研究実施期間

この研究課題の研究期間は2027年3月31日までです。

## 研究の方法

### 【研究対象者】

2015年9月1日から2016年6月31日の間にHelicobacter pyloriの除菌療法後皮疹、アトピー性皮膚炎および尋常性乾癬の診断を受けられた方

### 【本研究課題で利用する試料・情報の項目】

血液、病変部擦過サンプル、年齢、性別、診断名、家族歴、既往歴、薬剤歴、臨床所見、発症時期・病歴、治療歴、生活歴、血液学的検査、血液生化学的検査、臨床画像情報、皮膚組織標本所見

### 【研究方法の概要】

新潟大学皮膚科で採取された研究対象者の血液、病変部擦過サンプルから、医薬基盤・健康・栄養研究所プロテオームリサーチプロジェクトにおいてタンパク質を抽出し、質量分析計を使ってタンパク質解析を行います。遺伝子解析は実施しません。

## 試料・情報の提供について

試料は宅急便で、情報はメールで基盤研に送られます。試料・情報は、医薬基盤・健康・栄養研究所のみの利用とします。

## 個人情報の取り扱い

個人情報は新潟大学皮膚科で匿名化されるため、医薬基盤・健康・栄養研究所では、個人情報は扱いません。

また、研究成果を学会や論文等で公表する際にも、個人が特定できないようにします。

## お問い合わせ先

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 創薬標的プロテオミクスプロジェクト

プロジェクトリーダー 足立 淳

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8

電話：072-641-9811 内線 3209

新潟大学大学院医歯学総合研究科皮膚科 教授 阿部理一郎

〒951-8520 新潟県新潟市中央区旭町通一番町754番地

電話：025-223-6161